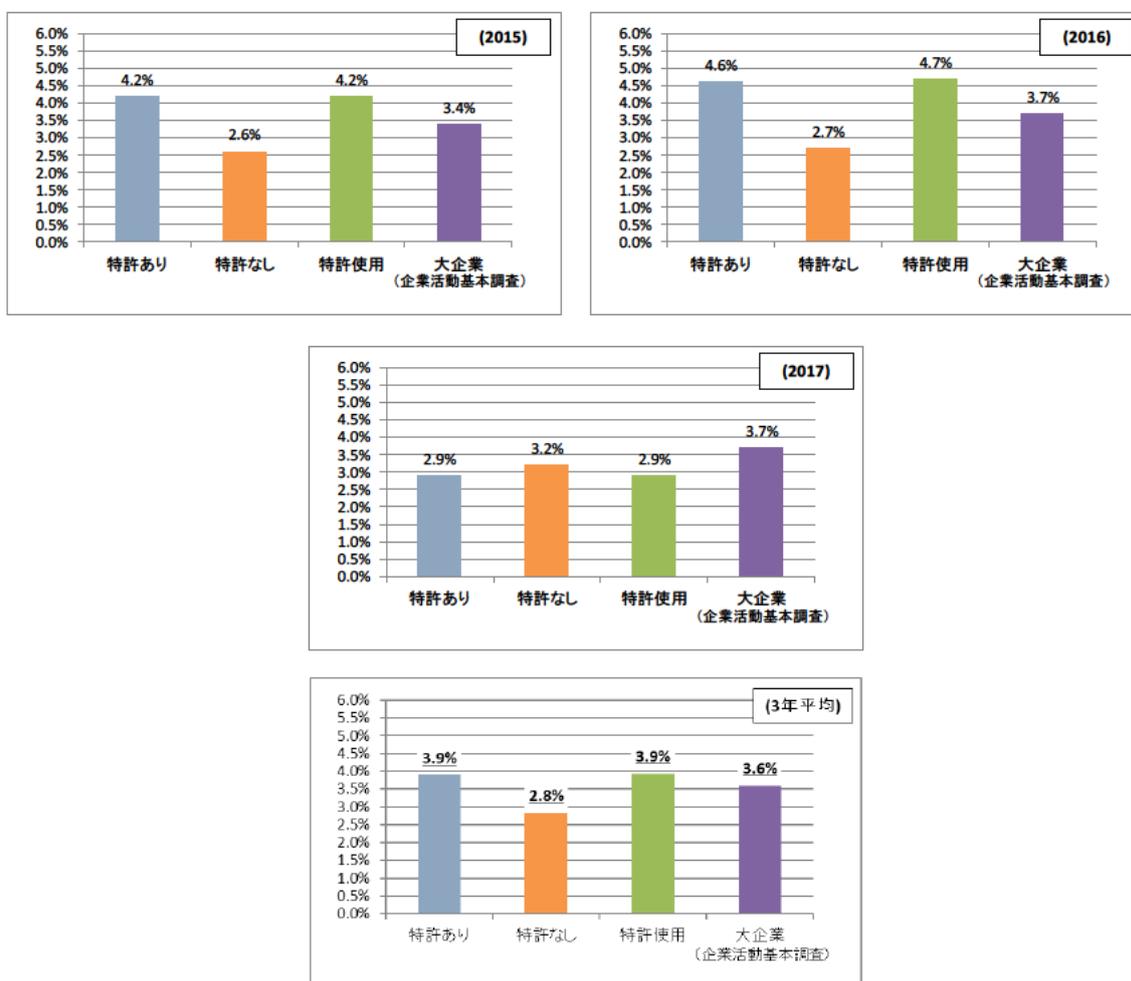


3. 企業規模・業種等による比較・分析結果

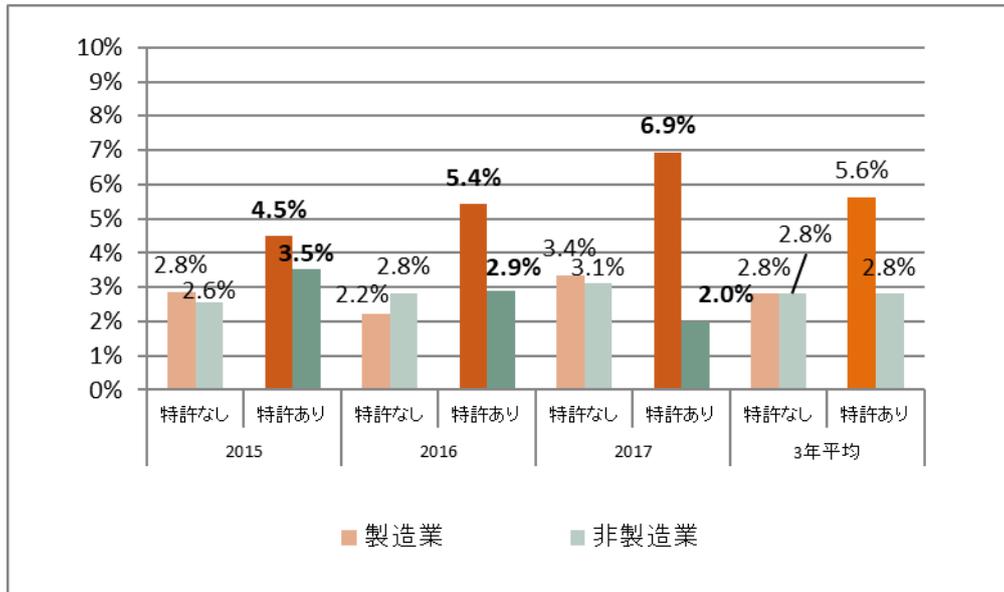
(1) (再掲) 特許権所有の有無・活用の有無と売上高営業利益率(中小企業及び大企業)

中小企業の特許権所有・活用状況と売上高営業利益率をみると、2015年から2017年の3年平均で、特許権あり企業が3.9%、特許権なし企業が2.8%と特許権を所有する企業の利益率が高い。また、特許権を使用している企業は3.9%であり、大企業の3年平均3.6%に比べ、特許所有企業の利益率が高い。一方、特許権所有の有無と売上高営業利益率を製造業、非製造業でみると、2015年から2017年の3年平均で、特許権なしの企業は業種によらず2.8%、特許権ありの企業は製造業で5.6%、非製造業で2.8%と、特許権を所有する製造業での利益率が高い。

(再掲) 特許権所有の有無・活用の有無と売上高営業利益率(全体及び大企業)



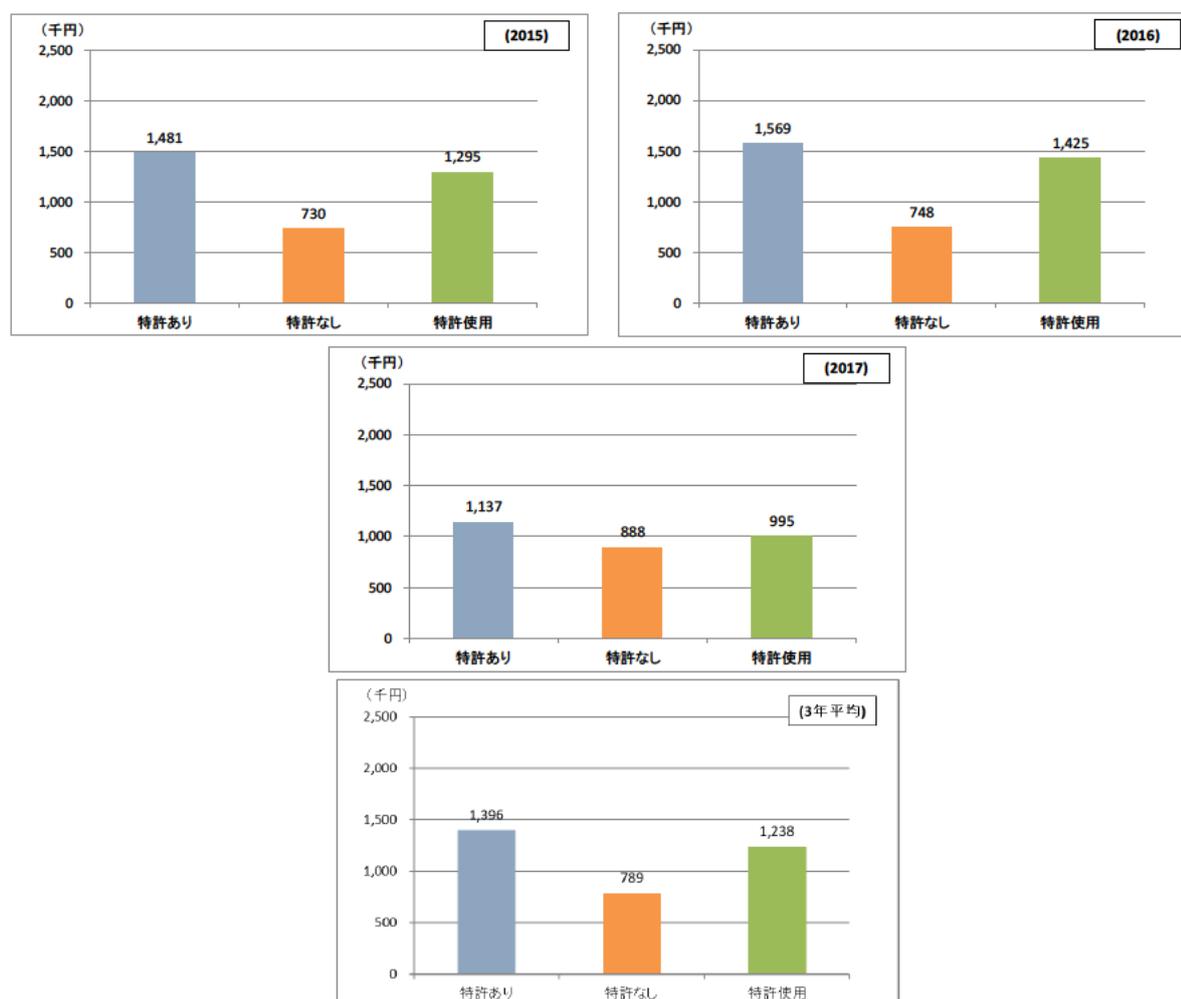
(再掲) 特許権所有の有無・活用の有無と売上高営業利益率(製造業・非製造業別)



(2) (再掲) 特許権所有の有無と従業者一人当たりの売上高営業利益額 (中小企業)

中小企業の特許権所有・活用状況と従業者一人あたり営業利益をみると、2015年から2017年の3年平均で、特許権あり企業が1,395.7千円、特許権なし企業が788.7千円と特許権を所有する企業の利益が大きい。また、特許権を使用している企業は1,238.3千円である。一方、特許権所有の有無と従業者一人あたり営業利益を製造業、非製造業でみると、2015年から2017年の3年平均で、特許権なしの企業は製造業で768.7千円、非製造業で794.3千円と、非製造業の利益が大きい。特許権ありの企業では、製造業で1,800.3千円、非製造業で1,066.3千円であり、製造業での利益が大きい。

図表 II-63 : 特許権所有の有無と従業者一人当たりの売上高営業利益額⁶⁶

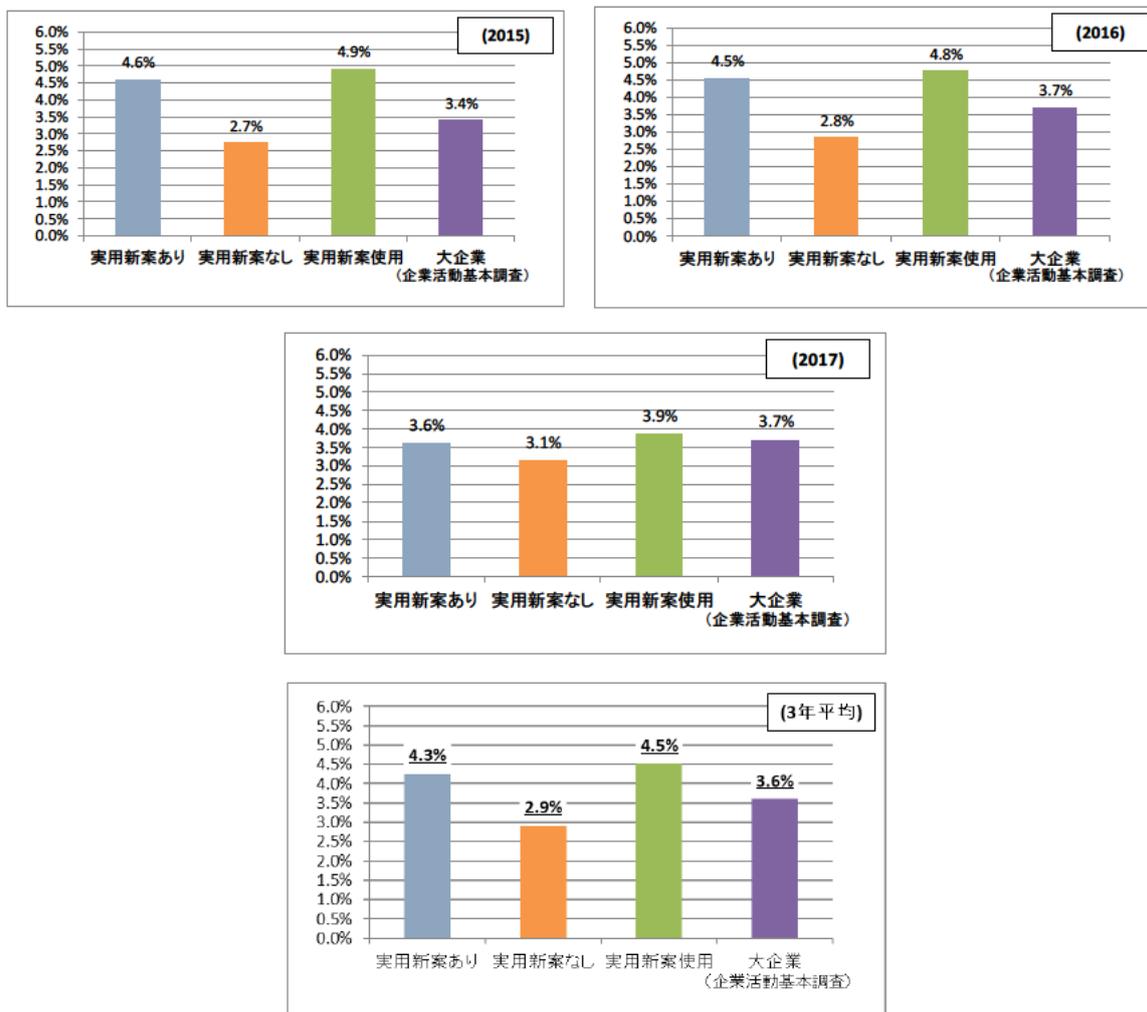


⁶⁶ 中小企業庁「中小企業実態基本調査」再編加工。

(3) 実用新案権所有の有無・活用の有無と売上高営業利益率（中小企業及び大企業）

中小企業の実用新案権所有・活用状況と売上高営業利益率をみると、2015年から2017年の3年平均で、実用新案権あり企業が4.3%、実用新案権なし企業が2.9%と実用新案権を所有する企業の利益率が高い。また、実用新案権を使用している企業の利益率は4.5%であり、大企業の利益率3.6%に比べ、実用新案権所有企業の利益率は高い。

図表 II-64 :実用新案権所有の有無・活用の有無と売上高営業利益率(全体及び大企業)⁶⁷

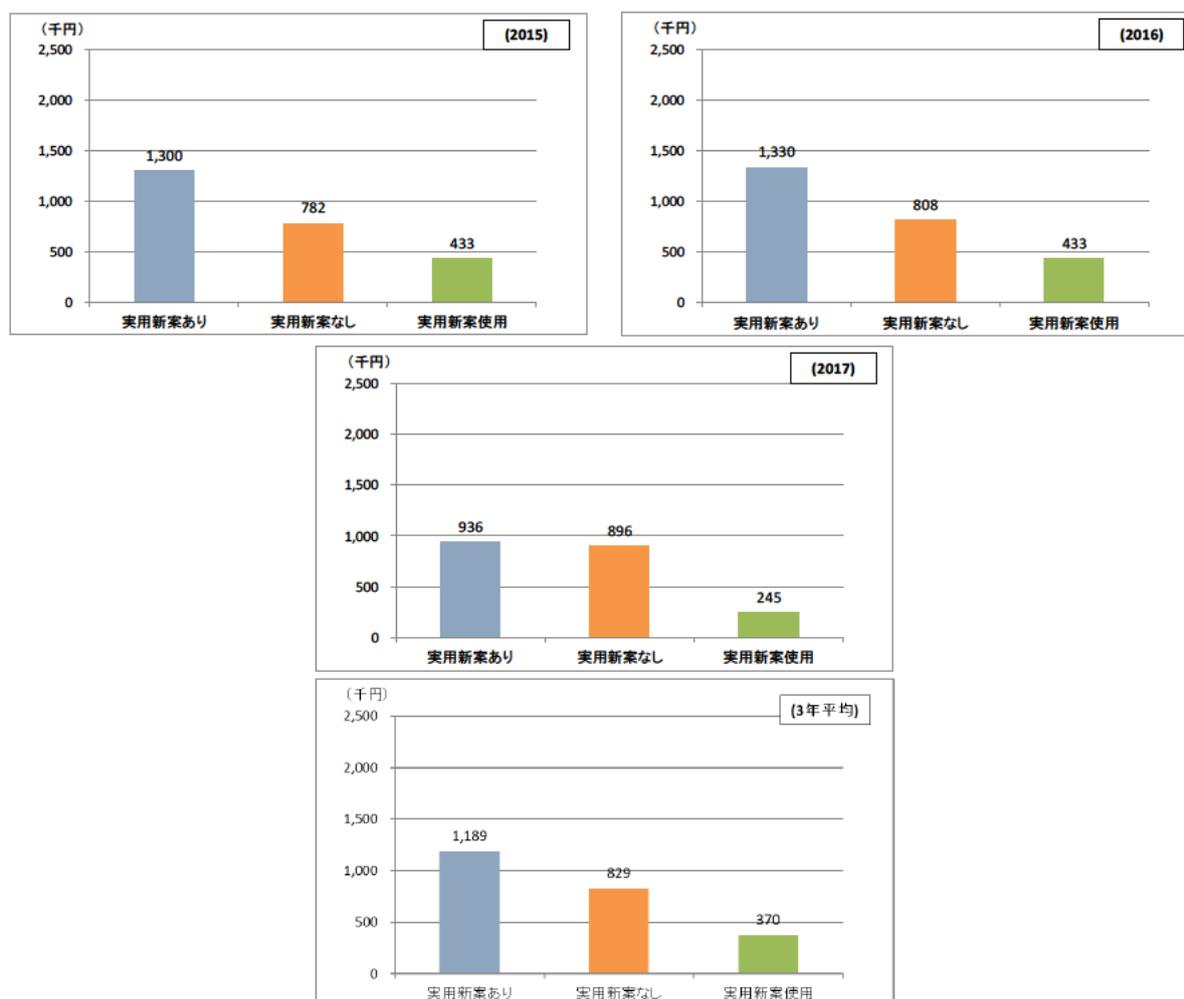


⁶⁷ 中小企業庁「中小企業実態基本調査」再編加工。

(4) 実用新案権所有の有無と従業者一人当たりの売上高営業利益額（中小企業）

中小企業の実用新案権所有・活用状況と従業者一人あたり営業利益をみると、2015年から2017年の3年平均で、実用新案権あり企業が1,188.7千円、実用新案権なし企業が828.7千円と実用新案権を所有する企業の利益が大きい。また、実用新案権を使用している企業は370.3千円であり、実用新案権なし企業よりも利益が低い。

図表 II-65 :実用新案権所有の有無と従業者一人当たりの売上高営業利益額⁶⁸

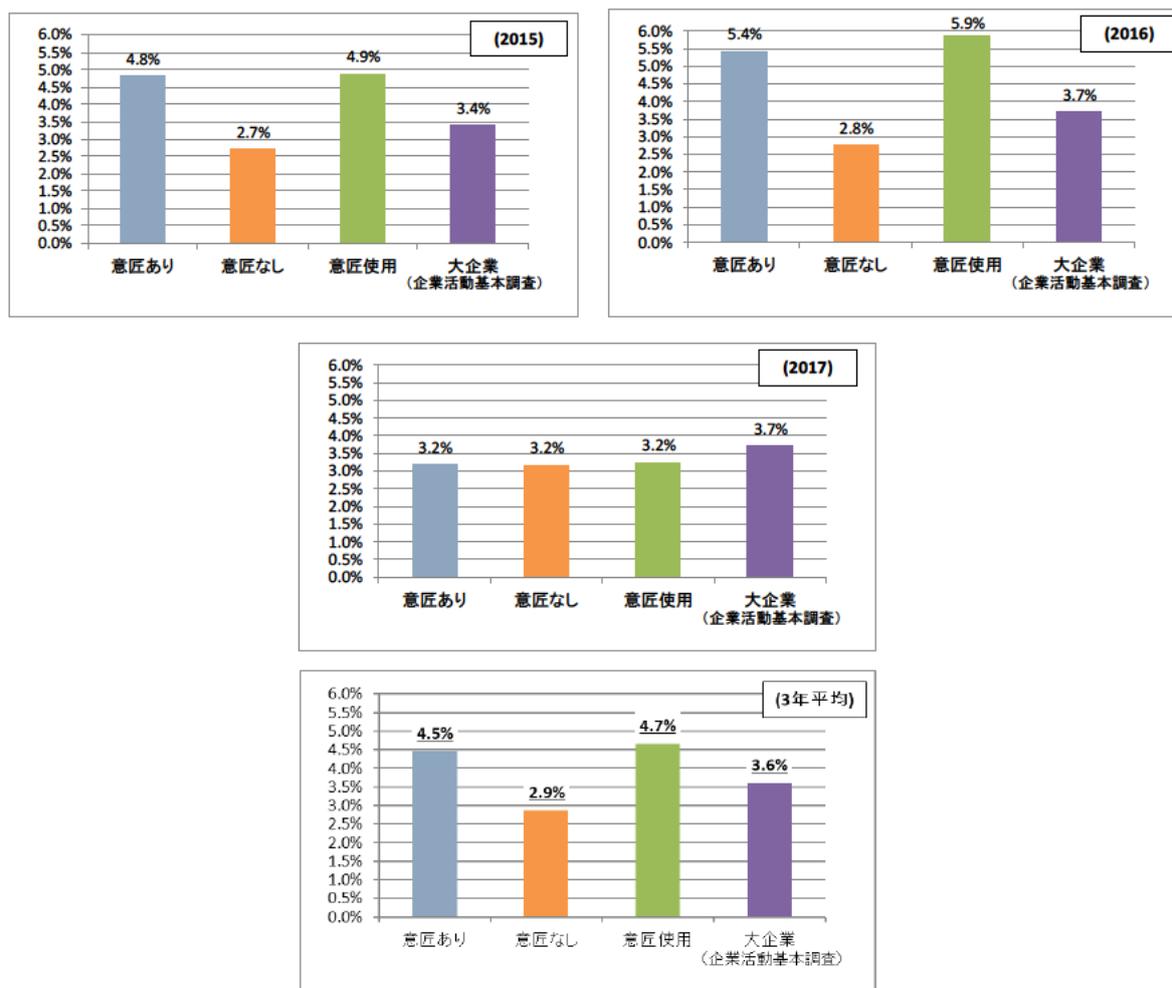


⁶⁸ 中小企業庁「中小企業実態基本調査」再編加工。

(5) 意匠権所有の有無・活用の有無と売上高営業利益率（中小企業及び大企業）

中小企業の意匠権所有・活用状況と売上高営業利益率をみると、2015年から2017年の3年平均で、意匠権あり企業が4.5%、意匠権なし企業が2.9%と意匠権を所有する企業の利益率が高い。また、意匠権を使用している企業の利益率は4.7%であり、大企業の利益率3.6%に比べ、意匠権所有企業の利益率が高い。

図表 II-66：意匠権所有の有無・活用の有無と売上高営業利益率(全体及び大企業)⁶⁹

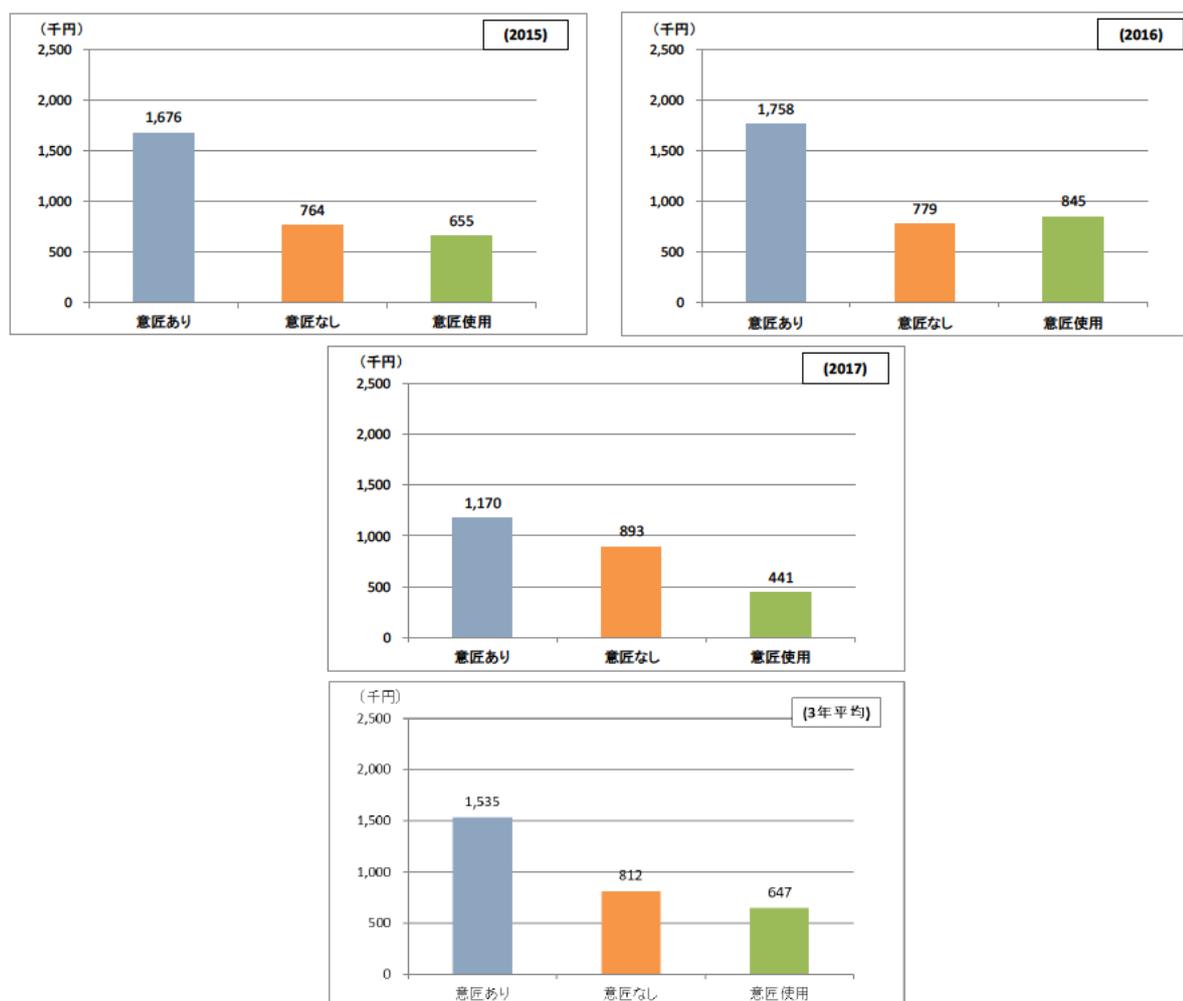


⁶⁹ 中小企業庁「中小企業実態基本調査」再編加工。

(6) 意匠権所有の有無と従業者一人当たりの売上高営業利益額（中小企業）

中小企業の意匠権所有・活用状況と従業者一人あたり営業利益をみると、2015年から2017年の3年平均で、意匠権あり企業が1,534.7千円、意匠権なし企業が812.0千円と意匠権を所有する企業の利益が大きい。また、意匠権を使用している企業は647.0千円であり、意匠権なし企業よりも利益が低い。

図表 II-67：意匠権所有の有無と従業者一人当たりの売上高営業利益額⁷⁰

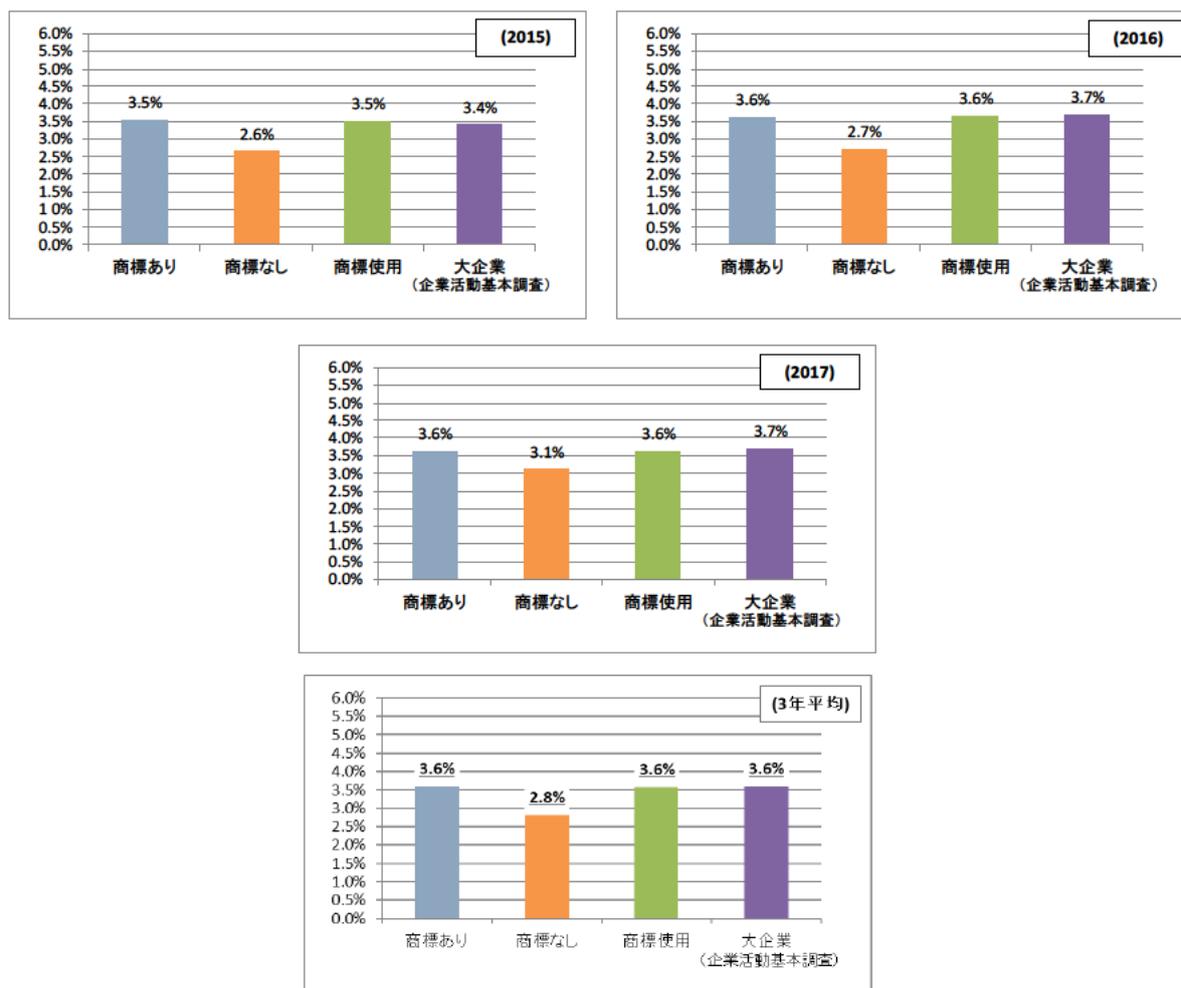


⁷⁰ 中小企業庁「中小企業実態基本調査」再編加工。

(7) 商標権所有の有無・活用の有無と売上高営業利益率（中小企業及び大企業）

中小企業の商標権所有・活用状況と売上高営業利益率をみると、2015年から2017年の3年平均で、商標権あり企業が3.6%、商標権なし企業が2.8%と商標権を所有する企業の利益率が高い。また、商標権を使用している企業の利益率は3.6%であり、大企業の利益率3.6%と同程度となっている。

図表 II-68 : 商標権所有の有無・活用の有無と売上高営業利益率(全体及び大企業)⁷¹

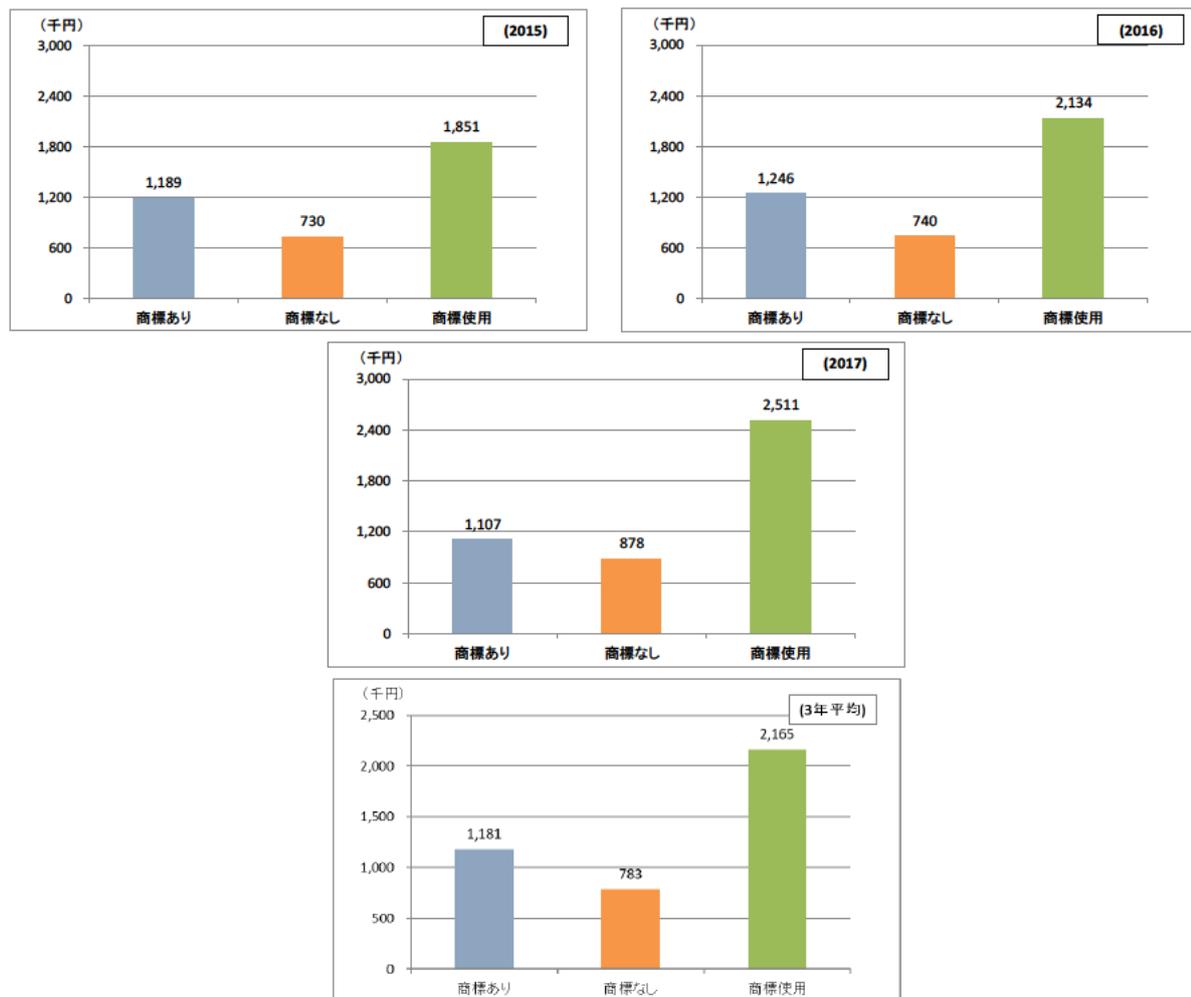


⁷¹ 中小企業庁「中小企業実態基本調査」再編加工。

(8) 商標権所有の有無と従業者一人当たりの売上高営業利益額(中小企業)

中小企業の商標権所有・活用状況と従業者一人あたり営業利益をみると、2015年から2017年の3年平均で、商標権あり企業が1,180.7千円、商標権なし企業が782.7千円と商標権を所有する企業の利益が大きい。また、商標権を使用している企業は2,165.3千円であり、利益が最も高い。

図表 II-69 :商標権所有の有無と従業者一人当たりの売上高営業利益額⁷²



⁷² 中小企業庁「中小企業実態基本調査」再編加工。